

日 誌（昭和57年9月）

【国 内】

- | | |
|--|--|
| <p>10日 ○大蔵省、58年度一般会計予算等の概算要求額を閣議に報告（9月号「要録」参照）。</p> <p>22日 ○大蔵省、歩積・両建預金の報告等の簡素化について、関連通達等の改正を実施（「要録」参照）。</p> <p>24日 ○政府、「今後における行政改革の具体化方策について」（いわゆる「行政改革大綱」）を閣議決定（「要録」参照）。</p> | <p>○政府、国家公務員の給与について人事院勧告に伴う改定を見送る旨の「公務員給与に関する取扱いについて」を閣議決定。</p> <p>○日本銀行、財形年金貯蓄制度発足に伴い金融機関の預貯金等の金利の最高限度の一部引上を決定（「要録」参照）。</p> |
|--|--|

【海 外】

- | | |
|--|---|
| <p>1日 ○フランス政府、1983年度予算案を閣議決定。
○メキシコ、民間銀行の国有化、外国為替管理を実施
○中国、共産党第12回全国代表大会を開催</p> <p>3日 ○米国、1982年増税法成立</p> <p>4日 ○第19回IMF暫定委員会カナダのトロントにて開催
○ノルウェー、ノルウェー・クローネを3%切下げ</p> <p>8日 ○オランダ、総選挙を実施</p> <p>9日 ○デンマーク中央銀行、自動的貸出制度を停止
○スウェーデン中央銀行、罰則金利を引下げ</p> <p>10日 ○カナダ、内閣改造を発表
○デンマーク、連立内閣成立</p> | <p>13日 ○韓国、1983年度予算案を発表</p> <p>15日 ○フランス政府、フラン防衛のため外貨借入を決定
○イタリア外国貿易省、輸出決済猶予期間を延長
○ベルギー中央銀行、新5,000フラン紙幣を発行</p> <p>18日 ○台湾、公定歩合および市中金利を引下げ</p> <p>28日 ○米国連邦準備制度、銀行持株会社による貯蓄貸付組合の州際買収を初めて認可</p> <p>29日 ○米国連邦準備制度、一部準備預金の同時積立方式への移行時期を84年2月と決定</p> <p>30日 ○カナダ、内閣改造を発表
○英国、ロンドン金利先物市場の取引を開始
○スウェーデン中央銀行、罰則金利を引上げ</p> |
|--|---|